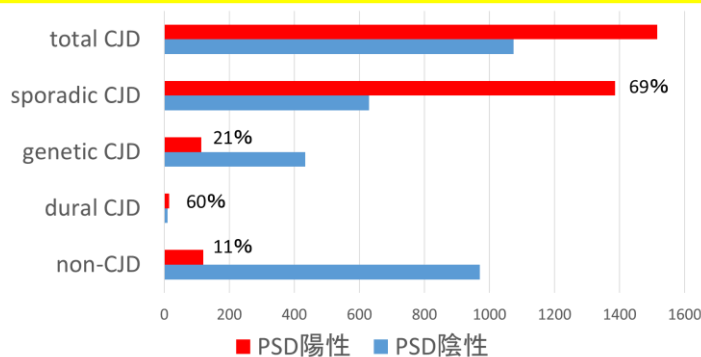


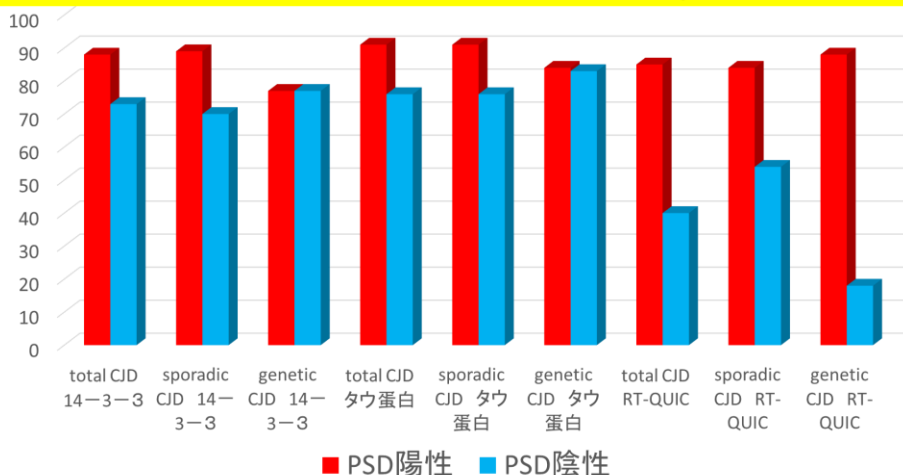
プリオン病における周期性同期性放電（PSD）の意義 -他要因との相関とサーベイランス情報との相関-

研究分担者: 杏林大学病態生理 寺尾安生、財務省・財務省診療所 黒岩義之

PSDの有無の影響は基底核で差が出る



PSDの陽性/陰性と14-3-3蛋白/タウ蛋白/RT-QUIC検査



解 説

1.脳波上の PSD 出現と

①脳のMRI高信号: 大脳皮質(+)基底核(+)

②脳脊髄液検査: RT-QUIC陽性所見

は高い相関を示す。

2. genetic CJDではPSDがみられないことが多く、基底核の高信号がみられる頻度は低い。

3. 進行につれてPSDが陰性だったのが陽性化した症例があり、この症例では経過とともに大脳基底核の高信号が陽性となった。